3人の緻密なアンサンブルが織りなす圧巻のステージ。

音楽の魅力を、心ゆくまで

フォルテアフタヌーンコンサート

市文化協会設立40周年を記念して、10月2日㈮に文化会館フォルテでアフタヌーンコンサートが開催されました。出演は坂口昌優（まゆ）さん（バイオリン）、鶴見彩（あや）さん（ピアノ）、竹多倫子（みちこ）さん（ソプラノ）の3人。コンサートではクラシックの有名曲が披露されたほか、野々市市出身のアニメーション監督 米林宏昌氏制作の絵本『はるのにわで』に合わせた演奏も初披露されました。春の庭を舞台に、生き物や草花が共に生きる情景が三者三様の音で表現され、来場者約550人はうっとりと聴き入っていました。

写真を通して野々市を思う

谷 裕介写真展トークイベント

野々市生まれで写真家の谷裕介氏の写真展が9月12日㈮～10月4日㈯、学びの杜ののいち カレードで開催されました。これに合わせ、10月3日㈮に谷裕介氏、粟貴章市長、吉冨達也カレード館長がトークイベントを行いました。谷氏が友人の死を経験した時に出合ったカラスがきっかけで、この写真展の題材であるカラスの写真を撮り始めたことや、写真を通して見えてくる野々市の魅力などについて語りました。終了後は谷氏による展示作品解説も行われ、来場者は熱心に耳を傾けていました。

左から、吉冨達也カレード館長、粟貴章市長、谷裕介氏。

秋晴れに響くにぎわいのビート

えきまえむすびーと2026秋／猩々酒場（しょうじょう）2026

10月10日㈭、IR野々市駅周辺で多彩なステージや展示、グルメなどを楽しむイベントが開催されました。

野々市駅南口の広場にはパトカーや白バイ、消防車、のっティバスが勢ぞろい。普段は近くで見られない車両に乗ったり写真を撮ったりする親子連れが多く見られました。交遊舎前の広場では、和太鼓やジャズの演奏、ダンスなどが披露されました。来場者はキッチンカーのグルメを片手に、のんびりと楽しんでいました。そのほかステージでは、今年7月に市の無形民俗文化財に指定された御経塚じょんがらも披露されました。御経塚じょんがらには地元児童6人も参加し、伝統文化の継承に意欲を見せました。

夕方からは野々市北口プラザで「猩々酒場」が開店。日本酒「猩々」や季節限定酒「猩々秋あがり」、梅酒「梅猩々」など、さまざまなメニューで来場者を楽しませました。お酒の購入者には先着で、御経塚遺跡から出土した土偶をかたどったクッキーが配られ、受け取った人は「かわいい。食べるのがもったいない」と話していました。

❶御経塚じょんがら。❷ジョギングやウォーキングを楽しみながらごみを拾う「プロギング」。❸水消火器による消火体験。❹積み木を使った建築あそび。❺シェアサイクルまちのりの登録受付。❻猩々酒場には開店と同時に長蛇の列が！ 土偶クッキーも好評（写真左下）。❼暑かったので梅猩々サワーが人気でした。❽フォトスポットでハイチーズ！

まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課（☎227－6056）

左から、司会の多田このみ氏、富樫家通、ひこにゃん、カブッキー▼

©彦根市

歴史を刻み、にぎわいをつなぐ北国街道

第14回北国街道野々市の市／レキシコンののいち

9月23日（水・祝）、旧北国街道（本町通り）周辺で、さまざまな催しが行われました。

本町通りを歩行者専用道路にして行われた「北国街道野々市の市」では、音楽やダンス、書道パフォーマンスのステージ発表、体験イベント、物品販売、キッチンカーのグルメなどが楽しめました。メインステージでは子どもたちで構成されている輪島高洲（こうしゅう）太鼓が出演し、一打一打が空まで突き抜けるような迫力のある演奏を披露しました。22日㈫（火・休）の前夜祭では、プロジェクションマッピングが投影された中で野々市じょんから踊り流しを披露。約250人の踊り手が光に包まれながら優雅に踊る姿に、来場者は目を奪われていました。

にぎわいの里ののいち カミーノでは、富樫氏や北国街道をテーマとした歴史入門イベント「レキシコンののいち」を開催。野々市市の歴史キャラクター「富樫家通（いえみち）」が登場し、さらに北国街道にゆかりのある小松市の「カブッキー」と滋賀県彦根市の「ひこにゃん」も駆けつけて、会場は大盛り上がり。来場者は、それぞれの地域の歴史を学びました。また能登半島地震で破損した市指定文化財「聖徳太子一代記図絵馬」の修復の完了を記念し、絵馬の修復についての説明会と一般公開も行われました。

❶多くの人でにぎわう本町通り。❷❸野々市じょんから踊り流し。❹輪島高洲太鼓の披露。❺能登地震被災者による花展。❻みんなでグルメを満喫！❼北国街道の歴史を学んだ来場者と記念撮影。❽修復された絵馬は布市神社に飾られています。❾喜多家住宅で行われた関守石づくりのワークショップ。

デジタル受付で避難をスムーズに

市総合防災訓練

9月27日㈯、市内全域で総合防災訓練を実施しました。森本・富樫断層帯を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生したとの想定で、災害対策本部の運営や避難所の開設などの訓練が行われました。

避難所の1つの菅原小学校では給水車による給水体験、感震ブレーカーの紹介、防災倉庫の見学などを実施。スマートフォンを使った避難所の入所手続きを体験した参加者からは「思ったよりも簡単にできた。紙に書くよりも楽だった」との声が聞かれました。

非常用飲料水袋に水をくむ参加者。6Lの水が入ります。